



19 辰 第858号
平成19年5月10日

国土交通省道路局長 殿

辰野町長 矢ヶ崎 克彦



中期的な計画の作成について（平成19年4月2日付け国道企第114号回答）

このことについて、別紙のとおりです。

道路整備の中期計画の作成に向けての意見要望について

はじめに

辰野町は日本の中心に位置し、中央自動車道西宮線及び伊北 IC の開設にともない首都圏、中京圏が至近の距離となり、さらに、関越自動車上越線、長野自動車道が開通して北陸圏を結んだ高速自動車道の大環状網の中央に位置しています。

一方、地域の外線には、南に伊那都市圏、北東に諏訪・岡谷都市圏、北西に松本・塩尻都市圏をひかえ三方に通じた国道、県道の幹線道路が環状に配置され交通上の重要な結節点にあります。

さて、今話題になっております道路特定財源の一般財源化の動きの背景には「道路整備は十分進んだ」論があるとおもわれますが、地方の実情からはあまりにも懸け離れていると思います。

例えば、当町の場合は伊那都市圏、松本・塩尻都市圏を結ぶ重要幹線道路は国道 153 号しかなく、平成 18 年の 7 月豪雨災害において徳本水地籍で大きな道路の崩壊が起き通行不能となり、生活道路として利用している住民はもとより伊那、松本間の流通産業に大きな支障を起しました。又県道や市町村道の改良も不十分であります。

こんな状態で道路整備のための財源が減れば、公共交通機関の発達した大都市と、車に頼らざるを得ない地方の格差はさらに広がりかねなく、住民の安全、安心の上でも大きな問題であります。

このようなことから、具体的道路整備について要望いたします。

1) 特定財源の重点配分

- ・国道の直轄化の促進
- ・地方幹線道路の重点的改修
- ・当地域の生活重要路線である国道 153 号宮所徳本水改良事業を着実に整備していく上で道路関係の補助金、交付金制度はきわめて有効であり、これを堅持すること。

2) 渋滞対策

- ・交通集中による渋滞が頻繁に発生している国道 153 号線、中央道伊北インターチェンジ出口から北側の北沢工業団地入口信号機付近について右折レーンの設置。
- ・国道 153 号(羽場信号機) から県道与地辰野線へ右折について、朝夕の通勤時間帯に渋滞が特に激しいので右折レーンの設置。
- ・宮所地籍の高畑信号機から宮所信号機間の道路幅が狭く大型車両の行き違いの時には歩道に乗り上げることもある状況で車及び歩行者の通行に危険が生じているので早期な道路拡幅。

3) 踏切対策の促進

- ・国道 153 号と県道伊那(停)辰野線を結ぶ、県道与地辰野線にある JR 東海(株)飯田線の下田踏切は幅員が狭い上歩道が設置されておらず、この羽場地区の児童生徒は常に交通事故の危険にさらされている。このことから、踏切の拡幅と歩道設置の早急な対策の実施